



交通 八潮市の道路 陥没事故後、 町の対応は

「私の視点」

八潮市の下水道管の事故が大変な問題となっている。全国の下水道管の長さは約49万キロメートル。地球から月までの距離は約38万キロメートル。月までより長いことになる。

答弁（町長） パトロールにより道路を確認

問 埼玉県八潮市の下水道管破損による道路陥没事故発生後、町は地盤沈下、陥没等の調査をすぐに実施したのか。

答（町長） 町には速やかに措置が必要な「緊急度Ⅰ」の管渠はなく、できるだけ早期に対策が必要な「緊急度Ⅱ」の管渠が約500メートルある。八潮市の事故を受け、該当箇所における道路表面に大きなひび割れや陥没の兆候がないかを職員によりパトロールした結果、そのような道路陥没につながる前兆はないことを確認している。

問 町の下水道の管径や築造年数は。

答（町長） 管径は直径20～80センチメートルだが、約9割が20～25センチメートルの小口径のものとなっている。

町では昭和56年より下水道工事に着手しており、築造年数40年を経過している管路は、令和5年度末時点で約1.9キロメートルある。

災害対策

問 町では災害対応力についてどのようなことを考えているのか。また、町民の生命と財産をどのように守るのか。

答（町長） 迅速かつ確かな情報発信ができるよう整備を進めるとともに、各地域の自主防災組織で行われる防災訓練や防災講座をサポートし、平時から災害対策を推進していく。そして、伊勢崎市消防本部への消防委託を継続するほか、消防団詰所の建設、軽可搬ポンプ車の整備

などを行い、地域防災力の向上を図っていく。

また、携帯用簡易トイレの備蓄数を増やすほか、災害用簡易トイレも購入していく。

問 町の給水車の水量はどのくらいか。

答（町長） 最大積載量は2000リットルである。

おくやみ相談窓口

問 前橋市、高崎市、伊勢崎市などには、死亡に伴う手続きが1か所ですべてできる「おくやみ相談窓口」が設置されている。玉村町は設置の検討をしているのか。

答（町長） 1か所で全ての手続きが行えることは理想的であるが、設置場所の確保や人員の配置等において現段階では難しいと考えている。



おくやみ相談窓口を設置することで、町民の利便性が向上するのではないかと考えています。

こんな質問もしています

・たまGOについて

令和7年3月定例会

町の課題や今後について、議員が提案も含めて町に考えを聞く「一般質問」。本会議において、白熱した論戦が繰り上げられます。

3月定例会で登壇した11人の議員はどんな視点で質問し、そして町はどう答えたのか。

町の「今とこれから」が見えてきます。

11人の 論戦

鋭く迫る！ 一般質問



皆さんは、どのキーワードに関心がありますか？

くらし

おくやみ相談窓口 (笠原 P.11)
今後の水道料金は (松本 P.17)

インフラ

八潮市の道路陥没事故後、町の対応は (笠原 P.11)
公共下水道管の維持管理は (新井 P.12)
下新田交差点付近にゼブラゾーンの設置を (浅見 P.14)
路面標示の補修 (浅見 P.14)
道路の修繕 (松本 P.17)
町民の利便性を考えた役場庁舎の増築を求む (三友 P.19)
公共インフラの整備・拡充 (羽鳥 P.21)

子育て・教育・福祉

(仮称)総合福祉センター建設の考えは (小林 P.16)
子供たちをめぐる問題と玉村町の取組 (小林 P.16)
子育て中の保護者の道しるべに (三友 P.19)
アウトリーチをどう進めているのか (堀越 P.20)
不登校児童・生徒、保護者への支援 (堀越 P.20)

防犯・災害

災害対策 (笠原 P.11)
早急に防災行政無線の整備を (新井 P.12)
安全安心なまちづくり (高橋 P.15)
「災い」から生命と財産を守る (小林 P.16)
災害時応援協定 (備前島 P.18)
コンビニエンスストアへのAED設置 (羽鳥 P.21)

その他

子ども議会での質問への対応は (月田 P.13)
玉村町版グラウンドゴルフ体操を考えて (月田 P.13)
五料・飯倉地区の田の水利改善を (高橋 P.15)
中小企業の賃上げ促進 (高橋 P.15)
人口対策 (松本 P.17)
道の駅玉村宿の南側公園構想は見直しを (備前島 P.18)
町職員の業務バランス (堀越 P.20)
住宅リフォーム補助制度の再開を求める (羽鳥 P.21)

※ () 内は質問者と掲載ページ

全文記録(会議録)は5月末に議会ホームページで公開予定です。



玉村町議会会議録

